

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2020年11月27日にパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

区分 I: 該当なし

区分 II: 該当なし

区分 III: 該当なし

その他: 4 件

NO.	号機等	不適合件名	グレード	発見日
1	1号機	燃料プール冷却浄化系ポンプ(A)ポンプ反軸継手軸受部において、異臭、異音(シャリシャリ音)、及び触診による振動が認められたため、原因調査・対策検討。 なお、燃料プール冷却浄化系ポンプは(A)から(B)に切替、使用済燃料プールの冷却に問題ない。	GⅢ	11月24日
2	3号機	非常用電気品室冷凍機(A)電流調節計の点検期限を点検計画に基づき2020年11月としていたが、現在、冷凍機(B)が油ポンプの不具合により停止していることから、冷凍機全台停止を回避するため、当該電流調節計の点検期限を冷凍機(B)の復旧予定である2021年2月まで延長。 なお、マニュアルに従い 技術評価を実施しているため影響はない。	GⅢ	11月26日
3	3・4号廃棄物処理設備	サンプタンク液位検出のレベル低を発生させるリミットスイッチの動作不良が認められたため、点検・修理。 なお、サンプタンク液位検出については、高高および低低のリミットスイッチにて検出可能であることから監視可能。	GⅢ	11月22日
4	3・4号廃棄物処理設備	固化系冷水ユニット(B)において、「冷水ユニットB冷水出口温度低」警報発生が認められたため、原因調査・対策検討。 なお、冷水ユニット(A)が点検停止中のため冷水ユニット全台停止となるが、1ヶ月間全台停止しても薬液は固化しなかった実績があることから影響なしと判断。	GⅢ	11月24日